

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	神保（酒巻） 朋子 【ライフサイエンス専攻 平成23年度生】	
論文題目	オゾン酸化と分画法および蛍光分析による水道原水中の溶存有機物評価法の迅速化	<p>本論文は、水道原水となる河川水に含まれる有機物の新しい評価方法を提案するものである。水道水においては浄水工程でのトリハロメタン生成に寄与する能力評価、および微生物増殖に寄与する能力評価の指標として THMFP や AOC が使われるが、測定時間が長く、煩雑な試験である。本研究では、オゾン酸化による有機物の変質を、親疎水性分画および蛍光分析にて検出する方法で、代替できる可能性を見出した。酸化処理による変質の検出を適用する点が特にオリジナリティーに優れ、かつ実用的な研究として評価されると考えている。</p> <p>平成 29 年 7 月 18 日、同年 7 月 28 日、同年 8 月 3 日と審査会を行い、論文内容については口頭審査を受けるに十分なものであるとの評価がなされた。併せて論文内容における不備や論文構成に関する修正が求められ、申請者はそれらの指摘事項に関して修正を行った。</p> <p>平成 29 年 8 月 18 日に開催された第 4 回審査会で、本論文に対する本人の口頭発表を実施し、研究の目的や意義、各実験内容についての確認、および得られた成果や方法論の提言に関しての質疑応答を行うとともに、学力の確認を行った。結果として問題なしと判定された。</p> <p>これらの成果をふまえて、平成 29 年 8 月 28 日に公开发表、並びに最終審査会を開催した。その際、発表内容および質疑応答から、本人の研究内容に対する理解、研究成果の解釈などは適切であり、最終試験に合格するに相応しい内容であると確認された。</p> <p>以上の結果から、本審査委員会は本論文が人間文化創成科学研究科の博士（理学）(Ph. D. in Environmental Engineering) に相応しいと判定した。</p>
審査委員	(主査) 教授 大瀧 雅寛	
	教授 仲西 正	
	教授 太田 裕治	
	准教授 元岡 展久	
	准教授 長澤 夏子	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p>イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p>ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p>オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	